

街の活力は  
自立と創造から

# あのまちこの街

編集 北海道商店街振興組合連合会  
〔あのまちこの街 編集委員会〕  
札幌市中央区北1条西2丁目



## 調理器具は何でもお任せ

### 東京・合羽橋と並ぶ ミナミの専門店街

#### 修学旅行生や開業希望者に ナニワの商人魂を伝授する

#### 食いだおれの台所を支えて

食いだおれの街、大阪を支える千日前道具屋筋商店街。周辺に飲食店が多かったこともあり、飲食関係の道具が何でも揃う専門店街となった。

法人設立直後(平成九年)に新設したアーケードの入り口にシンボルマーク、大きな「道」の看板が架かる。これは花月堂会長の筆による。同社は看板やのれん、ちょうちんの老舗だ。

#### 一人の生徒を受け入れ

千田理事長が代表幹事を務める「大阪ミナミ千日前道具屋筋集客エリア推進事業」は、ミナミ地区全体で展開している。この事業は、修学旅行生に「大阪の商い体験」の場を提供しながら、観

光客の受け入れ体制を整備し、周辺の商店街と相互協力して、集客力のあるエリアの創出を目的とする。

健康な育成や職業教育の意味もあり、生徒が実際に対面販売を行ったり、芸人の舞台を観たりするたくさんのメニューから選ぶことができる。平成十二年のスタート以来、全国の小・中・高校から申し込みが殺到し、これまで約四千校・一万人の生徒を受け入れた。予約は平成十七年度分まで入っているという。

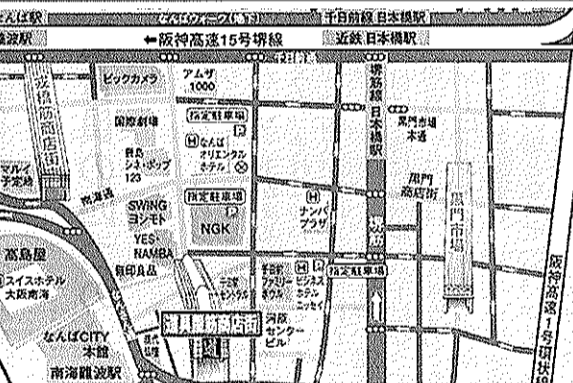
商店街には、体験した生徒からの感想文が続々と送られてくる。対面販売、人と接することの大切さや大阪商人の温かさを感じたという内容。

### 千日前道具屋筋 商店街振興組合 (大阪市中央区)



食いだおれ、お笑い、前からの業者だけでなく、一般消費者へ向けた販売や接客に関する研究をすすめている。現在、千日前道具屋筋商店街。南海電鉄、地下鉄「なんば駅」から徒歩三分とアクセスは良い。商店街の始まりは明治十五年頃。大衆演芸の発展とともに寄席や劇場が多く生まれ、今宮戎や法善寺の参道沿いに古道具屋、雑貨商が軒を連ねた。現在のようないくつかの飲食店向けの道具屋になったのは昭和初期。以来、大阪の台所を支えてきた専門店街である。

設立 平成八年  
理事長 千田 忠司氏  
(ガラス店経営)  
組合員数 四十三人  
(平成十六年十一月現在)  
街路延長 百六十メートル  
主な商店街事業 カラ1舗装、アーケード改修、集客エリア推進事業など



道具屋筋ならではの商品だが、最近是一般客が購入することも多い。

#### コラム

大阪府立上方落語資料館(愛称「ワッハ上方」)は、落語・漫才・講談・浪曲など上方落語に関する資料の収集、保存、展示をしている。展示室はテーマパークのようになっており、居酒屋は昔のセットが再現され、人気テレビ番組や法善寺のアニメーションを見ることが出来る。

圧巻は演芸ライブラリー。無料で各放送局の演芸番組を視聴できる。テレビ七百本、ラジオ千二百本に市販のビデオ・CD、千五百冊のおよぶ書籍が揃っている。またプロ・アマを問わず、新しい芸の創作、伝統芸の公演、講演会など幅広く利用できる三百七席のワッハホールや、小演芸場、レッスンルームも完備されている。

#### 1コース7時間の真剣勝負

プロの業者が客だった頃は品揃えも決まっていた。一般消費者が増え、特に目的はないが宝さがしをするような楽しさを求めて来店する客も少なくない。

「道具屋筋」の拡大の中で「道具屋筋まつり」の実施をはじめ、知名度と集客力アップを図るイベントを積極的に進めていった。

なかでも「体験修学旅行」を仕掛けた千田理事長は、「大阪は食と商い」の手づくり体験。④プロの芸人から大阪弁や上方落

#### 飲食店ベンチャーの相談者

体験修学旅行とともに注目を集めているのがベンチャー支援事業だ。これは、道具屋筋商店街が大切にしている大阪の食文化の伝統を、次世代の商業者に受け継いでほしいという思いから始めたという思いから始めた。

道具屋筋商店街が年二回開催するベンチャーウィーク。各一日にわたり相談の招待券予約チケットが添付されている。相談内容に応じた関係機関と

大阪を象徴するミナミにあつて、人間味あふれる顧客本位と相互信頼の「本物の商人」―大阪の「道」―を提供している。道具屋筋商店街。地元商人に、自信と誇りを取り戻すことにもつながる。

この商い体験は、先生や保護者からも好評で、最近では学校以外の団体が見学するケースが増えてきた。大阪の商いを知ってもらい、子供たちに判断を養ってもらおうと断るを断ってもらおうと断る。体験は、地域を愛し、日本という国を愛することにつながるという千田理事長はいう。

この商い体験は、先生の協賛は十社以上あり、申し込みは電話、ハガキ、FAXで当日も受け付けている。

同商店街が実施するイベントはこれ以外には、今年で「千日前」になる「道具の日」(十月九日)がある。ちなみにこの日、東京では合羽橋商店街が同様のイベントを開催する。



体験修学旅行より。(上から)上方落語芸人体験、あきんど体験、実演販売、粉文化食体験